

# AIを活用した新規事業企画コンテスト 応募者向け学習会

2026年2月25日

企業組合コンピュータユニオン理事会

## 【学習会テーマ】

CCU「AIを活用した新規事業企画コンテスト」応募者向けの学習会です。

コンテスト応募に必要、最小限のAI基礎知識の習得します。

本学習会は、「AIの技術者養成」ではなく、AIを社会や仕事にどう活かすかを考え、事業企画としてまとめる力を身につけることを目的とします。

AIについて「詳しくないが関心はある」組合員でも、最終的にA4・3～5枚の事業企画書を自力で書ける状態になることをゴールとします。

## 【「AIを活用した新規事業企画コンテスト」の募集概要】

- **募集テーマ** 「AIを活用した新規事業企画コンテスト」
- **募集期間** 2025年12月1日～2026年5月31日
- **応募対象** 企業組合コンピュータユニオンおよび電算労傘下の組合員個人またはチーム（2～5名程度）
- **応募内容** 以下の要素を含む【事業企画書（A4・3～5枚程度）】の提出
  - ① 企画タイトル
  - ② ターゲットユーザ（個人、労働組合、一般企業、その他）
  - ③ 概要（目的・背景・解決したい課題）
  - ④ AIの活用方法（技術・モデル・想定システムなど）
  - ⑤ 期待される効果・意義
  - ⑥ 実現性（実施体制・コスト・スケジュールなど）
- **表彰・特典** 最優秀賞（1点）賞金：50万円、受賞企画の事業化（※）  
優秀賞（若干名） 賞金：10万円  
特別賞（アイデア賞・技術賞など） 記念品・公式サイト掲載  
（※）最優秀賞は審査においてCCU理事全員の同意で決定されますので、該当企画なしの場合もあります。
- **審査**

一次審査（書類）	2026年6月中
最終プレゼン審査	2026年7月～
結果発表	2026年9月通常総会時

## 【第1回】AIを“使う側”として理解する

➤ テーマ：AIで何ができるのか／できないのか

➤ ねらい

- AIを「魔法の技術」ではなく、**道具・手段として理解する**
- **事業アイデアを考えるための共通言語をつくる**

➤ 内容（120分）

### 1. イントロダクション（15分）

- コンテストの趣旨と評価ポイントの解説
  - 実現性・独創性・社会的意義
- 「技術説明よりもアイデア重視」であることの確認

### 2. AIの基本整理（30分）

- AIとは何か（ざっくり）
- 生成AI／機械学習／自然言語処理の違い
- AIが得意なこと・苦手なこと
  - パターン処理／文章生成／分類
  - 判断責任・倫理・曖昧な正解がない領域の弱さ

### 3. 身近なAI活用事例（30分）

- 業務効率化（事務・開発・問い合わせ対応など）
- 教育・学習支援
- 福祉・医療・地域分野での活用例

※「大企業の派手な事例」よりも → **中小・現場・組合活動に近い事例を中心に紹介**

### 4. ワーク【1】AIで困りごとは解決できる？（35分）

- 自分の仕事・生活・組合活動での「困りごと」を書き出す
- それにAIを使うとしたら？を自由に発想
- 正解・実現性は気にしない

### 5. まとめ（10分）

- 次回までの宿題説明
  - 「解決したい課題」を1つ決めてくる

## 【第2回】事業アイデアに落とし込む

### ➤ テーマ：課題 × AI × 価値

### ➤ ねらい

- 思いつきを「事業企画の形」に変える
- 応募要領④⑤⑥につながる考え方を身につける

### ➤ 内容（120分）

#### 1. 前回の振り返り（10分）

- 参加者の課題アイデアを数点共有

#### 2. 事業企画の基本構造（30分）

- 事業企画の三点セット
  - ① 誰のどんな課題か（ターゲット）
  - ② どう解決するか（AIの役割）
  - ③ 何が良くなるのか（価値・効果）
- 「AIを使うこと」が目的になっていないかをチェック

#### 3. AI活用方法の考え方（25分）

- AIを
  - 判断役
  - 補助役
  - 自動化役として使い分ける視点
- 完璧なAIを目指さない発想
  - 人とAIの役割分担

#### 4. ワーク【2】事業アイデア骨子づくり（40分）

- 以下のテンプレートで整理
  - ターゲットユーザ
  - 解決したい課題
  - AIでやること／人がやること
  - 期待される効果

#### 5. まとめ（15分）

- 次回までの宿題
  - 事業企画をA4・1枚程度にまとめてくる

## 【第3回】企画書に仕上げる・伝える

- テーマ：実現性と説得力を高める
- ねらい
  - アイデアを「応募できる企画書」に仕上げる
  - 審査員に伝わる書き方を身につける
- 内容（120分）
  1. 事業企画書の書き方ポイント（30分）
    - 応募要領①～⑦の解説
    - よくあるNG例
      - 抽象的すぎる
      - AIの説明が長すぎる
      - 実現体制が見えない
  2. 実現性の考え方（25分）
    - 最初から完璧を目指さない
    - 小さく始める発想（PoC・試行）
    - 組合・仲間・外部連携の可能性
  3. ワーク【3】企画ブラッシュアップ（40分）
    - 参加者同士で企画を読み合い
      - 良い点
      - 分かりにくい点
      - もっと良くなる点をフィードバック
  4. 最終まとめ（25分）
    - コンテスト応募までの流れ確認
    - 「挑戦すること自体に価値がある」というメッセージ

※ 本カリキュラムは、企業組合コンピュータユニオンおよび電算労傘下組合員向けの学習会を想定して作成しています。

## 学習会全体の到達目標

- AIを「難しいもの」と感じなくなる
- 自分たちの仕事・社会課題を起点に考えられる
- A4・3～5枚の事業企画書を自力で作成できる

## 全体スケジュール案

回	内容	日時 (第3土曜日10時～)	時間
第1回	AIを“使う側”として理解する	2026年3月21日、10時～	2時間
第2回	事業アイデアに落とし込む	2026年4月18日、10時～	2時間
第3回	企画書に仕上げる・伝える	2026年5月16日、10時～	2時間